

令和7年度第1回滝沢市スポーツ推進審議会議録

1 日 時

令和7年8月20日（水）午後2時20分から午後3時半まで

2 場 所

ビッグライフ滝沢小ホール

3 出席委員

委員13人のうち11人の出席であり、設置条例第4条第2項により本会は成立。

No	氏名	役職	所属など	出欠
1	千葉 智行	会長	盛岡大学文学部社会文化学科教授	○
2	村上 四郎	副会長	滝沢市スポーツ推進委員協議会長	○
3	阿部 拓也	委員	滝沢市小学校体育連盟会長（滝沢小学校長）	○
4	三浦 信之	委員	滝沢市中学校体育連盟会長（一本木中学校長）	○
5	熊谷 雅英	委員	（公財）滝沢市スポーツ協会会長	○
6	川村 尚雄	委員	滝沢市自治会連合会副会長	○
7	工藤 勤	委員	滝沢市スポーツ少年団本部長	○
8	大村 東子	委員	菓子保育園長（滝沢市保育協会）	○
9	藤倉 昌枝	委員	滝沢市地域婦人協議会理事	○
10	塚本 潤一	委員	滝沢市身体障害者福祉協会会長	—
11	小林 和夫	委員	滝沢市老人クラブ連合会理事	—
12	外山由美子	委員	滝沢市食生活改善推進員連絡協議会長	○
13	菊池 睦子	委員	滝沢市健康こども部健康づくり課長	○

4 出席職員

No	氏名	所属・役職など
1	太田 厚子	滝沢市教育委員会 教育長
2	佐々木敬志	滝沢市教育委員会事務局生涯学習スポーツ課長
3	細川 健一	滝沢市教育委員会事務局生涯学習スポーツ課総括主査

5 会議内容

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 副会長の選出
- (5) 議事録署名人の任命
- (6) 報告
 - ・令和6年度滝沢市スポーツ事業実績について【資料No. 1】
- (7) 情報提供
 - ・滝沢市におけるスポーツの推進について【資料No. 2】
- (8) その他
- (9) 閉会

6 主な質疑応答

- 会 長 食育とスポーツを関連付けた令和6年度事業はございますか。
- 事務局 生涯学習スポーツ課としては、学び&いきいきセミナーにおいて災害時の栄養～ローリングストックに関するセミナーを開催しましたが、スポーツとの関連性はございません。
- 委 員 健康づくり課としては、令和6年度の健康運動教室において栄養に関する講座と身体を動かす実技を組み合わせた内容となっています。
- 会 長 それでは、各委員の皆さんから所属団体などの視点からご意見やご提言などをお願いします。
- 委 員 小学生は、チャグチャグスポーツやスポーツ少年団などに所属し、スポーツに親しんでおります。小学生の頃から、学校のみならず地域において多様なつながりができて、スポーツを深めていくことは良いことと感じています。一方で、地域スポーツに携わる持続的な指導者の確保が課題とも危惧しており、中学校運動部活動の地域移行においても指導者の確保が重要と考えております。
- 委 員 従来のように中学校内で運動部活動が成り立たない状況であり、合同チーム編成や地域移行の動きを見据えながら取り組んでいるところです。
- 委 員 本年4月より市体育協会から市スポーツ協会として地域スポーツの推進に取り組んでおります。体育館などの施設利用についてもコロナ禍から回復しております。東部体育館テニスコート改修が行われ、先日こけら落とし大会を開催し、チャグチャグスポーツクラブとして活動された滝沢第二中学校OBOGも多数参加したところです。
- 委 員 川前自治会として、いきいきサロンを開催しておりますが参加者の固定化が課題となっており、茶話会など食事会と併せた方法で参加者増にも取り組んでおります。滝沢第二中学校男子柔道部が県・東北大会で優勝し、全国大会でも決勝トーナメント進出を果たしており、非常に強いです。学校教育振興協議会においても部活動発表が行われましたが、迫力がありませんでした。
- 委 員 スポーツ少年団単位団における指導者の確保が課題であり、指導者資格を誰かが取得しなければなりません。保護者がせっかく指導者資格を取得しても自分の子どもが卒団すれば一緒に抜けてしまいますし、この資格を取得す

るには概ね二年越しの時間を有するものとなっています。継続的に指導者資格取得者を二人確保することにハードルが高く、思うように進まないのが課題と考えています。また、野球とソフトボールに携わっておりますが審判資格の取得にも取り組む人も少ないことも課題となっています。

副会長 スポーツ推進委員協議会は、現在13人でニュースポーツの普及・啓発を中心に取り組んできましたが、近年では社会福祉協議会や教育委員会などと連携・協働して子どもから大人までを対象としたボッチャやモルックなどパラスポーツの普及・啓発にも取り組んでいます。

委員 滝沢市で生まれ育った子どもたちが全国を舞台に活躍する選手も多数おり、市内保育園児であった皆さんもいらっしゃり、とても嬉しいです。保育園児の多くは兄弟が取り組むスポーツに憧れて取り組む場合が多いです。熊谷萌さんは南巣子保育園を、桑原英男さんは柳沢保育園をそれぞれ卒園されています。熊谷さんは、東京オリンピック聖火ランナーに選出された折に南巣子保育園を訪れ、トーチを園児たちに見せてくださいました。桑原さんは、お父様が番付を毎回柳沢保育園に届けてくださり、本人も訪れ園児たちに力士姿を披露してくださいました。

委員 市地域婦人協議会としては、スポーツに関するプログラムは乏しいですが先日零石町で行われた岩手地区研修会でアーチェリーを楽しみました。参加者からはとても楽しく、またアーチェリーをやりたいとの声もあり、引き続き取り組んでいければと考えています。

委員 アスリートを育てるためには身体づくりの根幹である食事が大切であり、私自身も柔道に取り組む甥と姪を支援した経緯もあります。包括支援センターによるいきいきサロンにおいて、低栄養予防教室を開催し約30人が受講されました。滝沢第二中学校男子柔道部の県・東北大会優勝に感動していますし、特にも保護者の皆さんの熱意が素晴らしいです。

委員 健康づくり課として、健康寿命の延伸に向けて、身体を動かすきっかけづくりとしてウォーキング事業に力を入れています。ポイントウォーク事業は歩くことで、ポイントを貯めて期間終了時には商品券と交換できるものです。約7割の皆さんが継続申込されています。令和6年度は319人が登録されており、もう少し登録者を増やしていければと考えております。

クアオルト健康ウォーキング事業は、ドイツの温泉を活用した療養事業を参考とした日本式のウォーキングであり、市では、令和5年度に滝沢総合公園コース、令和6年度に鞍掛・相の沢コースの認定を受け、事業展開を行っています。

会長 市民体育祭の今後の在り方について検討を重ねられていると伺っておりますが、何らかの動きはございますでしょうか。

事務局 市民体育祭は自治会対抗の運動会として開催されておりますが、参加自治会数も増えていないのが課題となっており、昨年度から検討を進めております。従来の自治会対抗から門戸を広げて、会社チームや趣味のサークルなども出場できるような方法を令和9年度あたりを目途に考えており、自治会連合会役員の皆さんにも先日お伝えしたところです。

委員 東部地区4自治会で、普段ソフトボールに取り組んでいない子どもたちを対象としたソフトボール大会を開催しましたが、ルールを覚えるのが大変で

チーム編成が難しく、ルールが分かりやすいドッチボール大会に切り替えましたが、これも保護者の熱意の較差もあり、止む無く中止としたこともあります。そのような経緯もありますので、市民体育祭の今後の在り方も生涯学習スポーツ課が考える方法が望ましいのではと考えています。

事務局

以前までは、生涯学習推進計画学びプランたきざわとスポーツ推進計画をそれぞれ策定しておりましたが、令和元年7月に策定した学びプランたきざわ後期基本計画において両計画を統合しました。

このスポーツ推進審議会と社会教育委員会議で活用する会議資料も同様のものであり、関係団体の皆さんや社会教育・スポーツの推進に関する負担軽減なども考慮し、段階的な両会議の統合を検討しています。

委員

市民体育祭出場に関するチームづくりや選手集めがとても大変です。楽しいとか次回も参加したいと思えるような市民体育祭としていただければと思います。

事務局

市民体育祭は縮小ではなく拡大の方向を目指しています。自治会対抗のみではなく、広く参加できるような方法やユニバーサルスポーツを楽しむことができる場づくりなども考えております。